

氏名	荒木 晴
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6980 号
学位授与の日付	2024 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Interrelationships Between Serum Levels of Procalcitonin and Inflammatory Markers in Patients Who Visited a General Medicine Department (総合診療科を受診した患者におけるプロカルシトニン値と炎症・代謝マーカーの関連性)
論文審査委員	教授 松下 治 教授 森松博史 准教授 内山淳平

学位論文内容の要旨

プロカルシトニン(PCT)について、感染症以外における PCT の臨床的意義については未だ解明されていない点が多いため、血清 PCT 値と様々な臨床パラメータとの関連性を解析し、PCT の臨床的意義を検討した。2015 から 2017 年に岡山大学病院総合内科・総合診療科で血清 PCT 値を測定した 359 人をスクリーニングし、血清 PCT 陽性者 332 人を後ろ向きに解析した。PCT 陽性例を分類すると、細菌感染(20.5%)・非特異的炎症(20.8%)・悪性腫瘍(9.9%)・膠原病(8.4%)・非細菌性感染症(7.2%)・薬剤性(3.6%)・不明(29.5%)の内訳であった。血清 PCT 値の平均は細菌感染症群で最も高く、次いで非特異的炎症群、悪性腫瘍群であった。血清 PCT 値と臨床検査データとの相関では、特に血清 PCT 値は血清 sIL-2R と強い相関を示し、細菌感染症だけでなく非特異的炎症、膠原病、悪性腫瘍の疾患群においても同様の傾向を認めた。細菌感染症群以外の疾患群においても PCT と sIL-2R が強い正の相関を示しており、炎症病態において PCT と sIL-2R はある程度関連があると考えられる。PCT が上昇している症例においては、細菌感染症だけでなく sIL-2R が上昇する様な非細菌性の炎症病態も鑑別する必要がある。

論文審査結果の要旨

感染症以外の疾患におけるプロカルシトニン(PCT)の臨床的意義を解明するため、血清 PCT 値と種々の臨床パラメータの関連性を解析した。2015～2017年に岡山大学病院総合内科・総合診療科にて測定値を得た359名の患者を対象とし後ろ向きに解析した。陽性者332名の内訳は、細菌感染(20.5%)、非特異的炎症(20.8%)、悪性腫瘍(9.9%)、膠原病(8.4%)、非細菌性感染症(7.2%)、薬剤性(3.6%)、不明(29.5%)であった。平均値は細菌感染症で最も高く、次いで非特異的炎症、悪性腫瘍であった。PCT値は血清IL-2受容体(sIL-2R)値と強い相関を示し、細菌感染症、非特異的炎症、膠原病、悪性腫瘍において相関を認めた。

委員から、研究目的、研究対象者と測定値の扱い、細菌感染での測定値、カットオフ値の設定とその理由、相関性の分析、PCT値とsIL-2R値が相関性を示すメカニズム等について質問があり、本研究者はいずれにも限界性を踏まえつつ明解に回答した。

本研究は、不明熱を呈する疾患におけるPCT測定の意義と限界性における重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。